

マレーシア日本国際工科院 (MJIT) と筑波大学生命環境科学研究科における  
共同学位プログラムに関する打ち合わせ実施

報告・辻村真貴

2015年3月16日、3月17日の両日、マレーシアの筑波大学クアラルンプール・オフィスにおいて、MJITと筑波大学における共同学位プログラム（博士前期課程（修士））に関する打ち合わせが行われた。筑波大学からは、生命環境科学研究科持続環境学専攻の辻村および甲斐田助教が出席し、MJITからは小林教授（MJIT 副院長）、Zuriati 教授（環境グリーン技術工学科長）、杉浦教授、岩本准教授、梅宮准教授（JICA 専門家）、原准教授、Nurul 博士、Pramila 博士らが出席した。

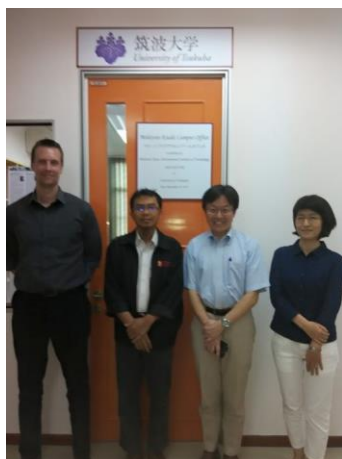
今回のミーティングでは、学位プログラムの根幹である、人材育成目標、入学者選抜方針、学位授与方針、研究指導方針、カリキュラム内容、履修方法などが重点的に検討された。とくに、共同学位プログラムを通じた両大学の学生および教員の交流等に関し、カリキュラムや研究指導、修士論文研究活動との関連を考慮し、具体的な実施方法が検討された。

また3月17日には、本研究科地球環境科学専攻修了生で現在マレーシア工科大学パームオイル研究センター・講師の Askari 博士、および同大持続環境研究所長の Hansen 博士と共同研究に関する打合せが行われ、パーム栽培のための効率的な水管理等に関し、研究交流を推進するため、検討を続けていくことが合意された。

今回の打ち合わせにおいて、共同学位プログラムにおける人材育成目標やカリキュラム構成・実施方法等に関し、意識共有と情報収集が行われ、また水資源に関する共同研究の可能性も検討され、きわめて有意義であった。MJIT と筑波大学の共同学位プログラムは、平成 29 年度から開始される予定である。



写真左：クアラルンプール・オフィスにて（後列左から、杉浦教授、甲斐田助教、辻村、岩本准教授、前列は生命環境系派遣の学生達）。写真右：共同学位プログラム打ち合わせの様子。



クアラルンプール・オフィスにて（左から、Hansen 博士、Askari 博士、辻村、甲斐田助教）。